

# PRESS RELEASE



2025年12月11日  
株式会社新日本科学  
<https://snbl.com>  
(証券コード:2395 東証プライム)

## CDP2025「気候変動」、「水セキュリティ」の2部門で「Bスコア」を獲得 ～水セキュリティは昨年のB-から1段階向上～

株式会社新日本科学（本社：鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長：永田良一）は、国際的な環境情報開示システムを運営する非営利団体CDPより、「気候変動」および「水セキュリティ」の2部門において「B」スコアの評価を受けましたのでお知らせいたします。

「気候変動」部門は昨年に引き続き「B」評価を維持し、「水セキュリティ」部門では昨年の「B-」から「B」～1段階スコアが向上しました。今回のスコア向上は、TNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）のフレームワークに沿って各拠点の水リスクや水ストレスを含む生物多様性リスクの評価を実施したことが評価されたものと考えています。

CDPは、グローバルな環境情報開示の枠組みを提供する国際非営利団体であり、世界の企業・自治体に質問書を送付し、その回答をもとに「A」（最高）から「D-」までの8段階で環境パフォーマンスを評価しています。質問書はTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の最終提言と整合しており、企業の環境情報開示における国際標準として位置づけられています。2025年には、世界の時価総額の約3分の2に相当する23,000社以上、さらに1,100以上の都市、州・地域など、合計24,000を超える組織がCDPを通じて情報開示を行いました。

今回2部門で獲得した「B」スコアは、「自社の環境リスクやその影響を認識し、行動している」マネジメントレベルと高く評価されたことを示すものです。

当社は、「環境、生命、人材を大切にする会社であり続ける」と掲げた企業理念、「わたしも幸せ、あなたも幸せ、みんな幸せ」というスローガンのもと、企業の持続的成長にはサステナビリティの推進が重要であることを認識し、経済的利益と社会的利益を一体として創出してまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)新日本科学 IR広報統括部

TEL: 03-5565-6216

E-mail: [ir@snbl.com](mailto:ir@snbl.com)